

ササキ

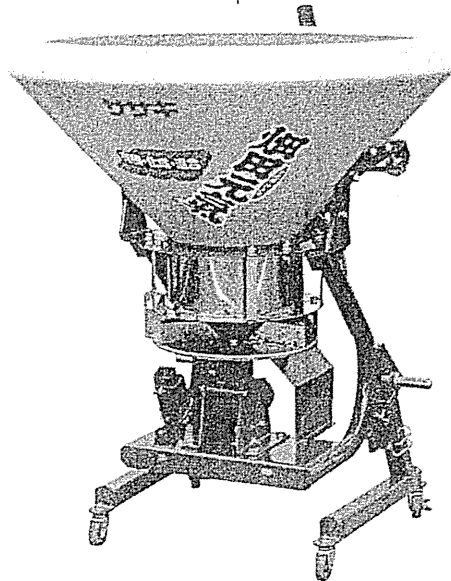
人に、環境にやさしい



取扱説明書

フロードキャスター

CM120



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こす恐れがあります。ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔


目 次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎一般的な注意項目	2
◎作業の前に	3
◎トラクタへの着脱	4
◎路上走行	5
◎圃上の出入り	5
◎作業をしているとき	6
◎トラクタを止めるとき	7
◎点検や格納のとき	7
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎保証書について	9
◎アフターサービスについて	9
◎補修部品の供給年限について	9
各部の名称	10
装着前の準備	11
装着方法	11
トラクタへの装着順序	11
ユニバーサルジョイントの切断方法	12
作業前の点検・調整	13
1. フレームの調整	13
2. シャッターの調整	13
3. 散布量の調整	14
4. 散布部の調整	15
5. 肥料を混合する場合	15
作業方法	16
散布作業	17
1. 初めて作業される方の散布要領	17
2. 風のない時の散布要領	17
3. 風が少しある時の散布	17
給油について	18
保守管理について	18
☆作業シーズン中の保守管理	18
☆作業シーズン終了後の保守管理	18
トラブルの原因と処理方法	19
主要諸元	19

ササキ商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、ブロードキャスターの取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎ ブロードキャスターは肥料を散布する機械ですその他の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みにになった後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本製品を貸与又は譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本商品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、又はお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ◎  印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。




注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

- ◎ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

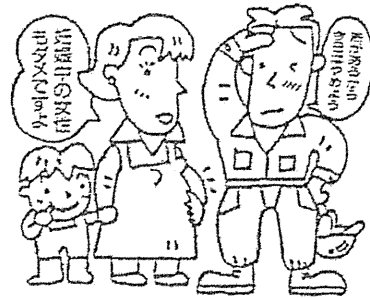
安全に作業をする為に

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

◎ 一般的な注意事項

警告 こんな時は作業しない

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
酒を飲んだとき。
妊娠しているとき。
18歳未満の人。

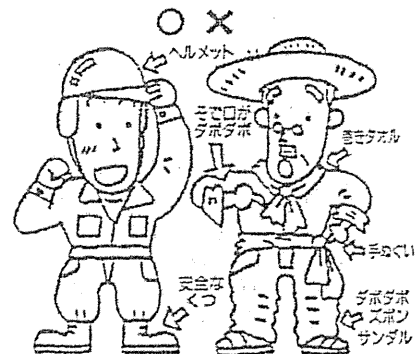


警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

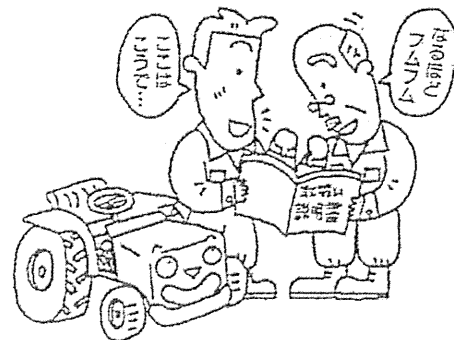


警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。

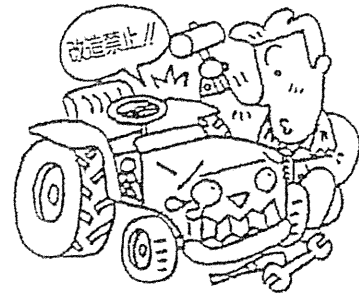


⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。



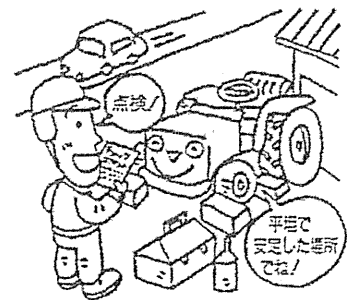
◎ 作業の前に

⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

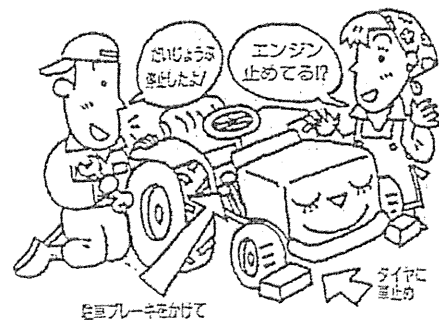


⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇作業の前には点検・整備を行ってください。
- ◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。
- ◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

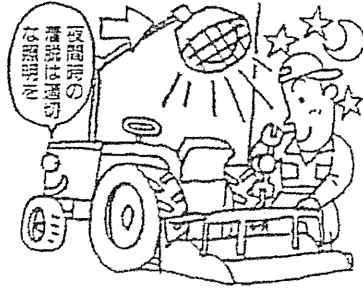
◎ トラクタへの着脱

▲ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行なう

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行なってください。
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をおこすおそれがあります。

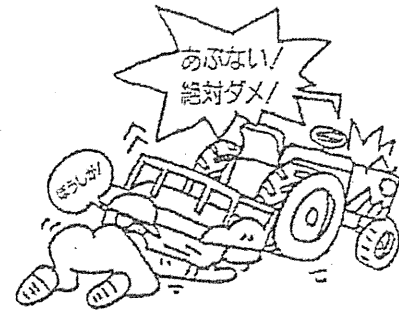


▲ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



▲ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故を起こすおそれがあります。

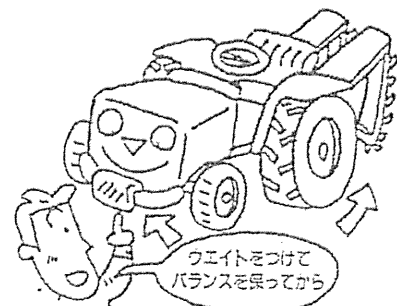


▲ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引きおこすおそれがあります。



▲ 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてPTO変速を中立にしてください。
- ◇2人以上で着脱を行なう場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取り付け部のピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

◎ 路上走行

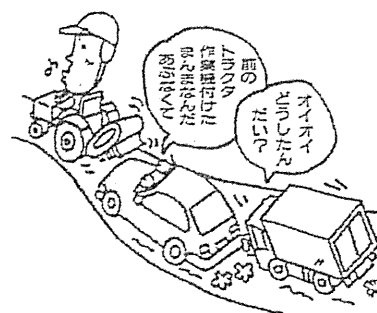
▲ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路運送車両法違反です。

事故を引きおこすおそれがあります。



▲ 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時機体寸法が大きくなるので、移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では路肩に十分注意して移動してください。

◎ 圃場の出入り

▲ 注意

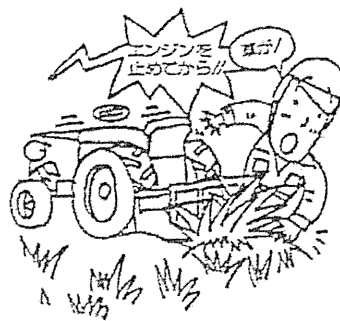
圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎ 作業をしているとき

▲ 警告 回転部（ツメ・刃、軸等）に巻き付いた草等を取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。

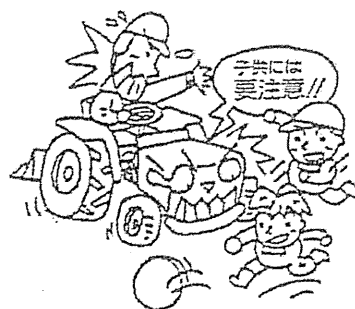


▲ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

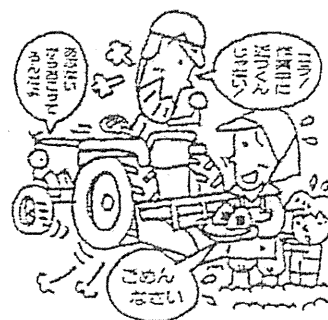


▲ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

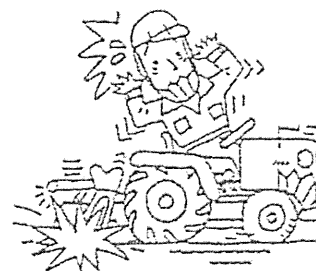


▲ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



▲ 注意

- ◇補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- ◇回転部分や動くところには触れないでください。

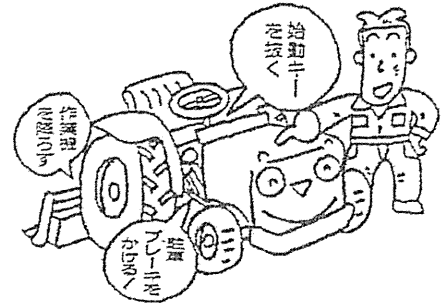
◎ トラクタを止めるとき

▲ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



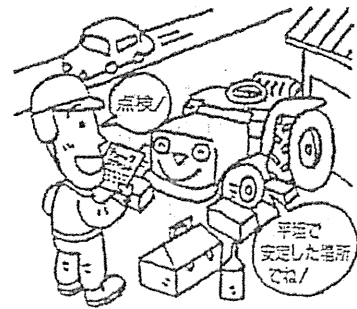
◎ 点検や格納のとき

▲ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行なう

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

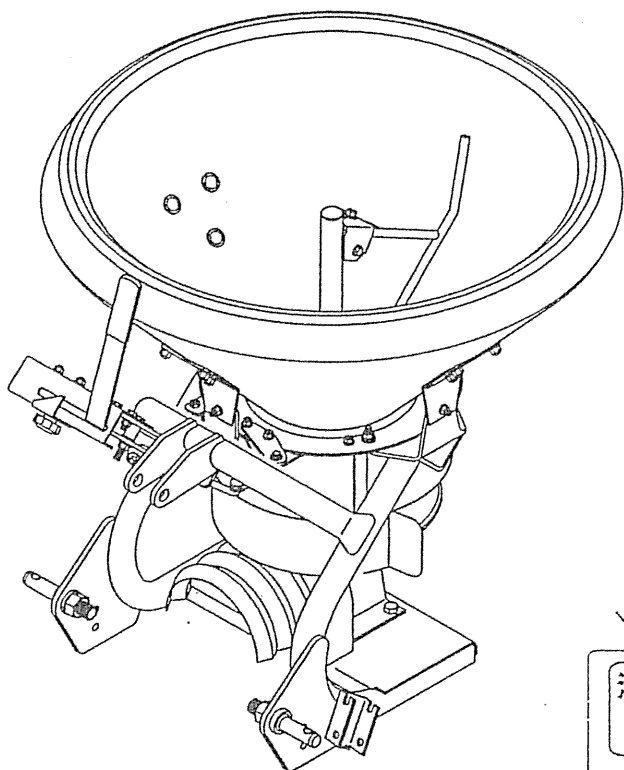
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



▲ 注意

- ◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。
- ◇機械の下にもぐったり、下で作業しないでください。
- ◇キャスターなど付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板貼り付け位置



注意

- 取扱説明書を参照して、完全に確認して下さい。
- トラクタから離れる際は、エンジンを停止して下さい。
- 高圧ホースの端やピンが鋭利なことを確認して下さい。
- 急降・急登・急旋回の際は、エンジンを停止して下さい。
- エンジン安全装置は、常に人がいないことを確認して下さい。
- 作業時には、PTOを閉めて下さい。
- トラクタとの距離は、安全に行ってください。
- 作業時のカバー風の取り外しはしないで下さい。
- 急降・急旋回に距離が深くなる場合は、クウェイトを脱離して下さい。
- 正確な長さのジョイントを使用して下さい。
- 作業中は人を近づけないで下さい。

安全作業で家族も笑顔

<p>△危険</p> <p>ジョイントカバーを取り外して使用する と手が巻き込まれ死傷することがあります。 必ず取り付けられたままで使用して下さい。</p>	<p>△警告</p> <p>エンジンまたはPTO軸が回転中、カバー 一内に足や手を入れないで下さい。</p>	<p>△警告</p> <p>エンジン回転中、スピナーシートに 足や手を入れないで下さい。</p>
<p>△警告</p> <p>足元は必ず見て入れて下さい。急降急登 での急旋回に距離が深くなる場合、パ ランスクウェイトを付けて下さい。</p>	<p>△警告</p> <p>作業中は足元に近づかないで下さい。 足踏みでケガをします。</p>	<p>△警告</p> <p>トラクタのロウリンクの内装及び荷重上 がる箇所に近づかないで下さい。ケガをす る可能性があります。</p>

0000-04140

注意

☆安全銘板ラベルが破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手配のうえ、貼り直してください。

☆新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全に拭き取って、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

『保証書』はお客さまが保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点など不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店等へご相談ください。その際、次のことをご連絡ください。

《ご連絡いただきたい内容》

◇型式名（機体銘板に明示しています。）

◇製造番号（機体銘板に明示しています。）

◇ご使用状況は？

（どのような作業をしていたときに？・・・）

◇どのくらい使用しましたか？

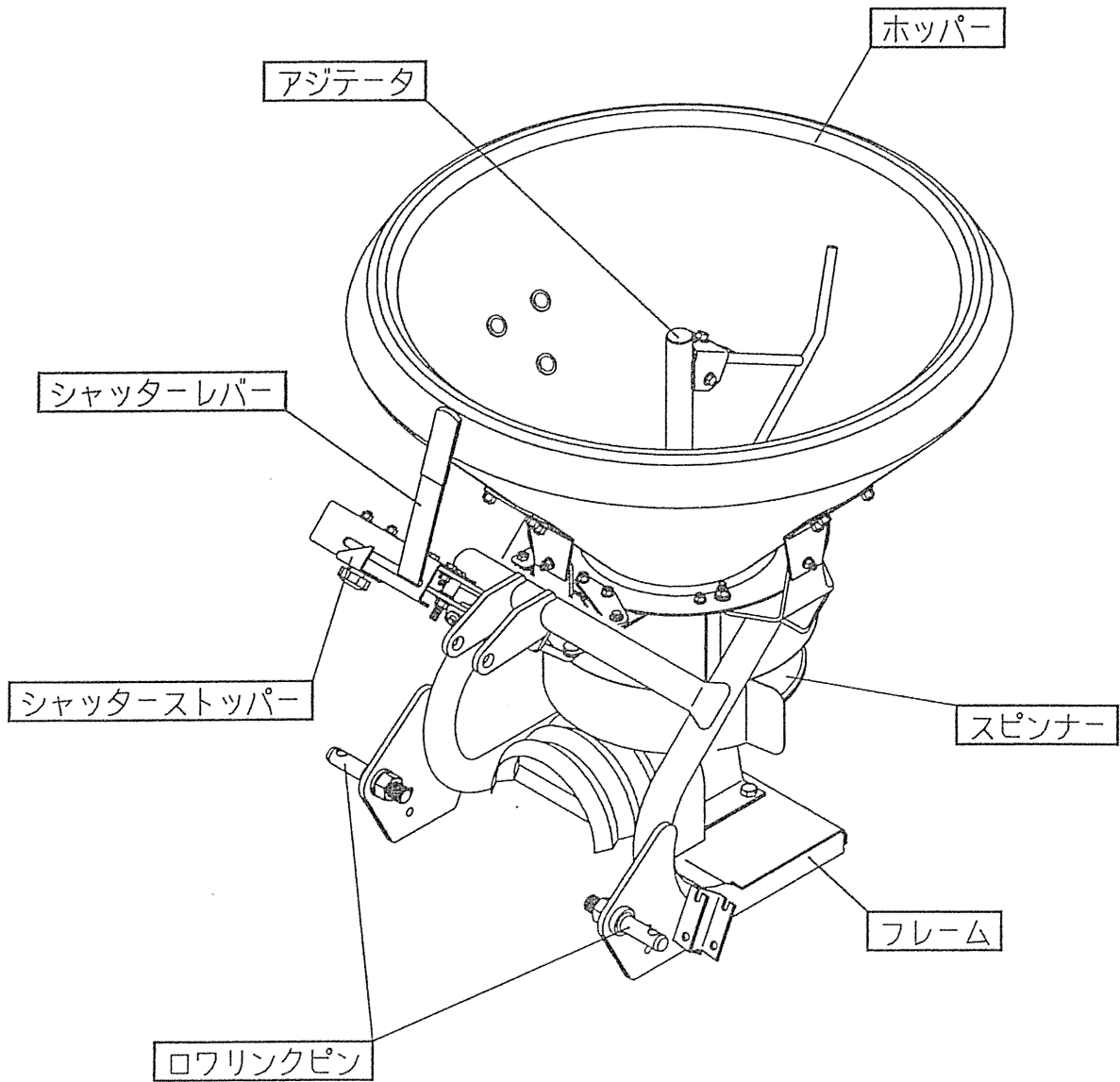
（約何アールまたは約何時間使用）

◇不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお知らせください。

◎補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限は製造打切り後 9 年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては納期などをご相談させていただく場合もあります。

各部の名称



装着前の準備

▲ 注意

前部が軽いトラクタの場合、バランス調整にウエイトを装着してください。

装着方法

▲ 警告

- ①作業機の着脱は平坦な場所で行なってください。作業機が動いて思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- ②作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- ③トラクタと作業機の間には不用意に入らないでください。入る場合はエンジンを切ってください。挟まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

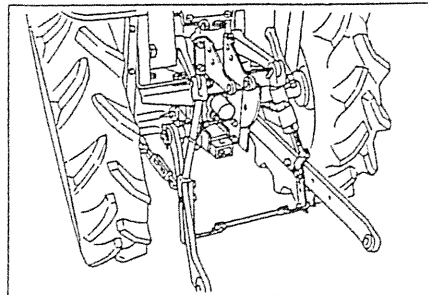
▲ 注意

- ①トラクタのPTO変速は中立にしてください。
- ②周りに十分注意してください。特に子供が近寄らないようにしてください。
- ③ジョイントのピンが確実に入っていることを確認してください。

トラクタへの装着順序

☆特殊3Pオートヒッチの場合

- ①オートヒッチは3点ともトラクタの昇降装置にしっかりと連結されているか確認してください。



- ②作業機のスタンドはあらかじめ立てておいてください。
- ③作業機をトラクタに装着するときは周りに人がいないことを確かめてから、トラクタをゆっくりと後退させ、オートヒッチのトップフックの部分に引っ掛かるように静かにすくい上げてください。
- ④ロワリンクピンにオートヒッチが連結するまで昇降装置をさらに静かに上げてください。
- ⑤3点リンクが外れないようにロワリンクピン部をロックしてください。

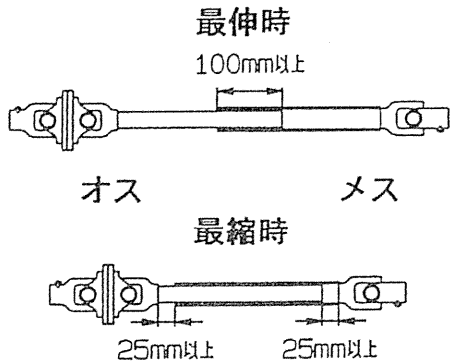
注：オートヒッチの使用方法はロータリーと同様ですので、トラクタまたはロータリーの取扱説明書をお読みください。

☆標準3P/特殊3P直装の場合

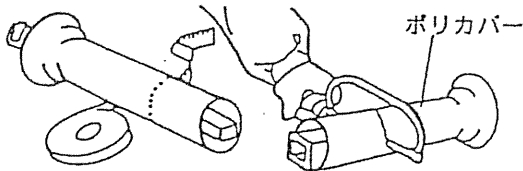
- ①トラクタのロワリンクが作業機の取付ピンに近付くまでトラクタを移動し、油圧レバーを下げてください。
- ②トラクタの左ロワリンクに作業機のピンをセットしてください。
- ③右ロワリンクのレベリングハンドルで調整しながらセットしてください。
- ④トップリンクをセットしてください。
- ⑤ユニバーサルジョイントを取り付けてください。ユニバーサルジョイントの長さは、トラクタの機種により異なりますので必ず適正な長さに切断してから装着してください。

ユニバーサルジョイントの切断方法

ユニバーサルジョイントを切断する場合、ジョイントの最伸時にはオス・メスの重なりが100mm以上必要であり、最縮時には内外各25mm以上の間隔が必要です。



ポリカバーも同じ長さで切断してください。

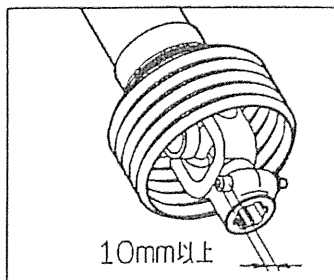


⑥ユニバーサルジョイント

ユニバーサルジョイントを装着してください。ジョイントカバーが回らないように付属の鎖を機械に引っ掛けてください。ユニバーサルジョイントの長さはトラクタによって異なりますので適正な長さに切って使用してください。

※ユニバーサルジョイントは作業機側はセットボルトで装着してください。

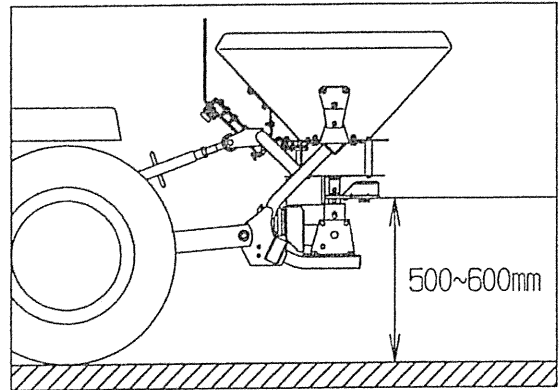
※トラクタ側はロックピンの頭が10cm以上出ていることを確認してください。



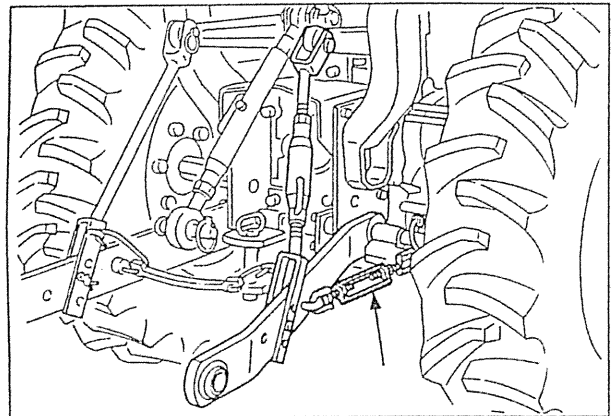
▲ 危険

ユニバーサルジョイントを取り付ける時は、必ずエンジンを停止してください。エンジンが掛かったままだと巻き込まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

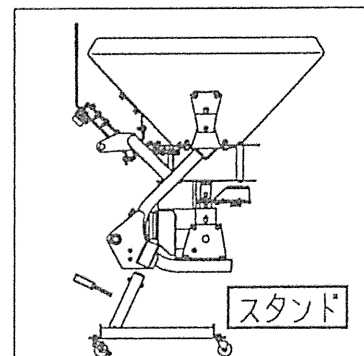
- ⑦スピナー高さが500~600mmになるようにポジション設定してください。



- ⑧トラクタのチェックチェーンを左右均等に張ってください。



- ⑨移動時や作業時はスタンドを外すか、または上下逆にしてスタンドブラケットに取り付けてください。

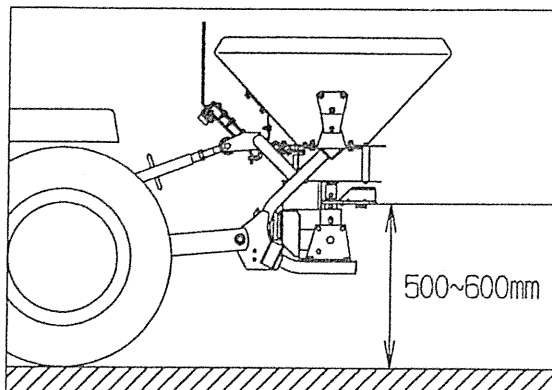


作業前の点検・調整

作業前に次の点検・調整を行ってください。これは、事故や故障の防止、耐用年数増大のためにも常に行う習慣をつけましょう。

1. フレームの調整

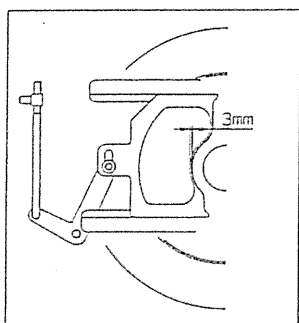
■ 正常な装着図



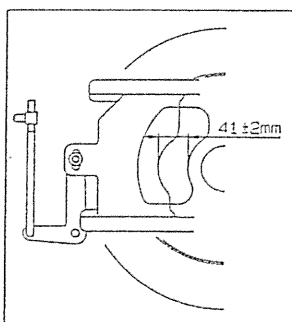
2. シャッターの調整

- ① シャッターレバー開度「0」にしときシャッターとシャッターアッパーのラップ量が3mmなるよう連結金具により調整します。
- ② シャッター開度を「10」に固定し、シャッターとシャッター口との開き量が $41 \pm 2\text{mm}$ 程度になることを確認してください。
41±2mmの範囲に入らない場合は、連結金具により調整し、①のラップ量確認します。
- ③ シャッター開度「20」に固定し完全に開くことを確認してください。

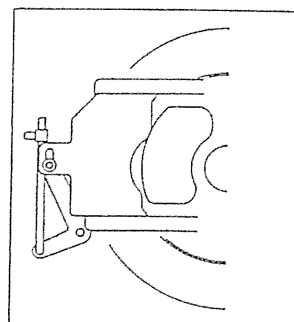
シャッター開度「0」



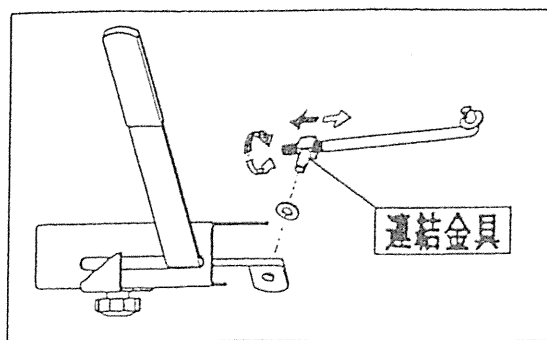
シャッター開度「10」



シャッター開度「20」

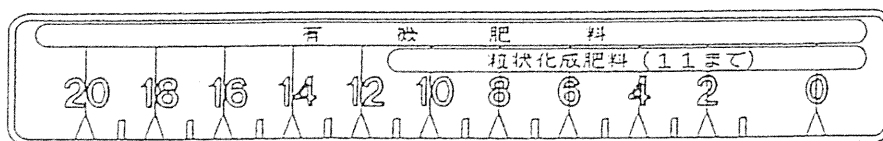


※連結金具により調整はできますが、シャッターレバー開度0のときは、必ずシャッターが完全に閉じているようにしてください。



3. 散布量の調整

シャッター開度12以上は、袋詰有機肥料（ケイフン等）用ですので、粒状、砂状、粉状では使用しないようにしてください。



シャッター開度目盛と散布量 kg/10a		PTO回転数540rpm																					
肥料の種類	車速 (km/h)	散布巾 (m)	シャッター開度																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
粒状物(有機肥料)	3	4~5	0	0	0	0	0	7	18	36	52	89	105	132	154	171	199	209	231	253	274	292	
粒状物(化成)	4	5~6	0	2	6	22	38	71	117	163	230	299	402	開度「12」以上は、袋詰有機肥料（ケイフン等）用です。									
粒状物(ようりん)	4	4~5	4	7	25	62	147	214	298	382	448	547	609										
粒状物(ケイカル)	4	4~5	5	9	28	98	164	238	332	425	498	608	677										
粒状物(消石灰)	4	3~4	1	3	13	35	62	104	145	198	250	314	377										

※上段は凡その目安としてご利用ください

○ 散布量確認テストの方法について

散布量確認のために圃場作業前にテストを下記要領で実施してください。

例：粒状物（化成など）を10a当たり38kg散布の場合

散布巾5.5mとし車速4km/hとした場合10aの圃場の散布に要する時間は

$$\frac{10000\text{m}^2(10\text{a})}{5.5\text{m} \times 4\text{km/h}} = \frac{10000\text{m}^2}{5.5\text{m} \times 4000\text{m}} \times 60\text{分} = 2.7\text{分} = 162\text{秒}$$

- ① 開度目盛りを5にあわせる。
- ② 散布羽をはずす。
- ③ 本体の下にバケットを置く。
- ④ ホッパーに肥料38kgを入れる。
- ⑤ トラクタのエンジンを始動させ、PTO回転数を450～560回転にする。
- ⑥ シャッターを開け、吐出時間を計る。

この時の排出時間が約162秒です。肥料の粒の大きさにより排出時間が異なりますので約162秒で排出したkg数が10aの圃場に散布される肥料の量です。

○ 散布量と車速の決め方

例：10a当たり、粒状肥料を40kg散布したい場合、散布表より粒状の項の40kgより小さい値（38kg/10a）のシャッター目盛5に合わせます。

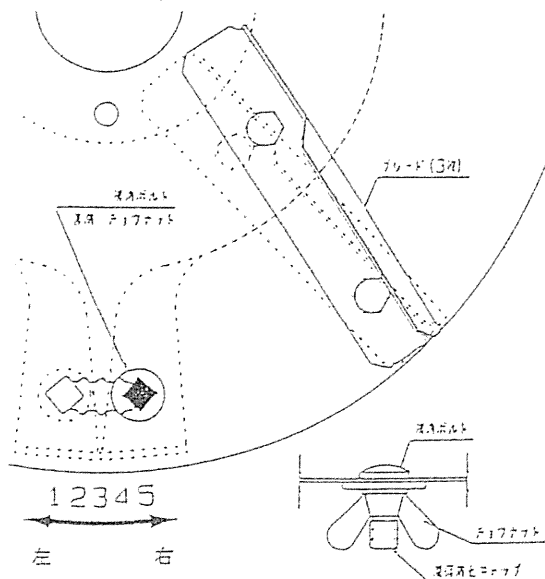
$$\text{車速} = \frac{4(\text{km/h}) \times 38(\text{kg}/10\text{a})}{40(\text{kg}/10\text{a})} = 3.8(\text{km/h})$$

- ◎ 38 kg/10a・・・散布表より
- ◎ 4 km/h・・・開度5で38kg散布する時の車速
- ◎ 40 kg/10a・・・10a当たり散布したい量

4. 散布部の調整

散布する肥料に合わせてインペラーの角度を調整してください。スピナーカバーに目安となる穴位置のラベルが貼ってありますので参考にしてください。

工場出荷時は「5」の穴位置になっています。



注意 レバーをスライドさせる際、手をケガする恐れがありますので、手袋などの保護具を着用してから行って下さい。

ブレードの調整方法

肥料の種類、及び散布状態に応じて、ブレード取付位置「1～5」を調整して下さい。

- (1) 根角ボルトを締め付けているチョウナットをゆるめて下さい。
- (2) 根角ボルトを軽く持ち上げレバーをスライドさせて下さい。
- (3) 任意の位置に設定できたら根角ボルトを角穴に入れ、ゆるめたチョウナットをしっかり締め付ける。

※ 肥料が右に片寄る場合は、レバーを右にスライドさせる。

※ 肥料が左に片寄る場合は、レバーを左にスライドさせる

(肥料とブレードの位置関係)

「1～2」……………有機肥料(袋詰ケイフン等)

「3～5」……………粒状、砂状肥料

※肥料の種類とインペラ穴位置は目安ですので、散布状態により適正な位置に調整してください。(粉状のインペラ角度位置は「2」または「3」です。)

※調整後、ゆるめたチョウナットは確実にしっかりと締め付け固定してください。

▲ 注意

守らないと、インペラがガタつき、散布状態が悪くなり、故障の原因となります。

※散布物

- ・粒状、砂状、(粉状)、有機肥料(市販されている袋詰めのもの、水分20%未満)

5. 肥料を混合する場合

- ①シャッター開度を「0」の位置にして、シャッターストッパーを固定してください。
- ②混合する肥料をホッパーに入れます。
- ③トラクタのエンジンを始動させ、油圧で本機を作業位置にした後、周りの安全を確認し、静かにPTOクラッチを入れてください。PTOクラッチを入れるときは、エンジン回転数を必ず下げてから入れ、徐々に回転を上げ、300～400回転で混合作業をしてください。

④混合に要する時間は以下の通りです。

・ 粒 状 × 粒 状	約1分	◎	
・ 粒 状 × 砂 状	—	△	◎：もっとも適する
・ 粒 状 × 粉 状	—	△	○：適する
・ 有機肥料(ケイフ) × 粒 状	約2分	○	△：よく混合できない
・ 有機肥料(ケイフ) × 砂 状	—	△	
・ 有機肥料(ケイフ) × 粉 状	約2分	○	

※肥料の粒子が異なるものはよく混合できず、また、散布状態も均一にならない場合があります。

⑤混合後の散布は、混合する比率の一番高い肥料にインペラの角度を調整してください。

▲ 注意

肥料散布の際は、PTO回転数を上げすぎたり長時間回転させたままにしておくと、肥料がつまって固まったり、また、粒状肥料等は粉状になりますので、注意してください。

▲ 危険

肥料をホッパーに入れる際は、危険ですので、必ずエンジンを切った状態で行なってください。

作業方法

- ①ホッパーに散布物を入れ、散布量に合わせてシャッターストッパーの位置を設定してください。
- ②トラクタ油圧で本機を作業位置にした後、付近に人・家畜等がないことを確認してから静かにPTOクラッチを入れてください。
- ③PTO回転数が540回転にあがってから、シャッターを開き、散布作業に入るようにしてください。
- ④作業速度は2～6 km/hr、PTO回転数は540回転で作業してください。

▲ 注意

ユニバーサルジョイントの角度は15°以下で使用してください。15°以上で使用しますと振動・異音等の発生の原因となりますし、本機の破損にもつながりますので注意してください。

▲ 注意

ホッパーに散布物を入れたまま長時間走行したり、PTOを回転させたままにしておくと、散布物が締まって固まり、落ちなくなる場合があります。故障の原因となりますので、散布物は散布する場所まで運んでからホッパーに入れて散布してください。

▲ 注意

- ①PTOの回転数は毎分540回転くらいで散布作業をしてください。
- ②回転が早すぎると、散布巾が広くなると同時に散布量が増します。
- ③回転が遅すぎると、散布巾が狭くなると同時に散布量が減ります。

- ⑤作業中、異音等が発生した場合は、直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止して作業を中止してください。原因を取り除き安全を確認してから作業を再開して下さい。

▲ 警告

- ①本機を装着すると前後バランスが変わります。発進時、登坂時にトラクタの前部が浮き上がる場合は、バランスウエイトを装着してください。
- ②移動時はPTOクラッチを切ってください。
- ③作業中は作業機に人を近付けないでください。特に、子供に注意してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ④エンジンを止めるときは、必ず作業機を降ろしてから停止してください。
- ⑤二人以上で作業する場合は、お互いに合図をし確認をし合って作業してください。特にトラクタのエンジンをかける場合やエンジンが作動している間は十分に注意してください。

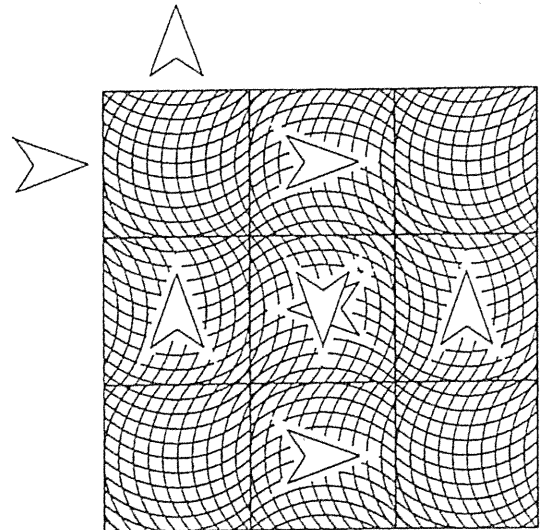
▲ 注意

作業時はオペレータの安全のため、必ず安全カバーを装着してください。

散布作業

1. 初めて作業される方の散布要領

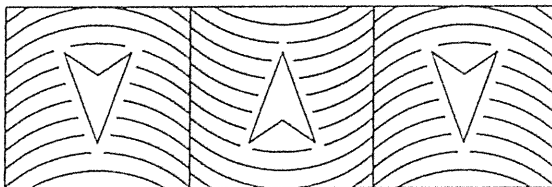
初めて散布作業をされる方は風のなきときに作業をし、この際、散布したい量の半分量を2回にわたって重複散布します。有効散布巾で第1回目は縦に、2回目は横に散布します。十文字に散布することで散布ムラを少なくすることができます。



2. 風のなき時の散布要領

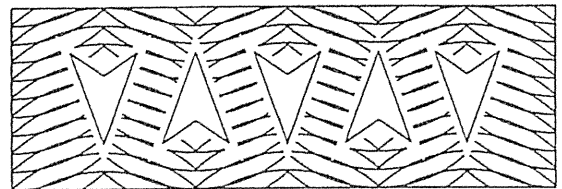
① 1回散布

有効散布巾をトラクタの走行間隔にする方法で、所定の散布量でのシャッター開度で散布します。能率が上がり、経済的な方法のため熟練した方にお薦めします。



② 2回散布

有効散布巾の間隔でトラクタを走行させ重複散布する方法です。この場合はシャッター開度メモリは散布したい量の半分量に合わせます。往復走行でも差し支えありません。

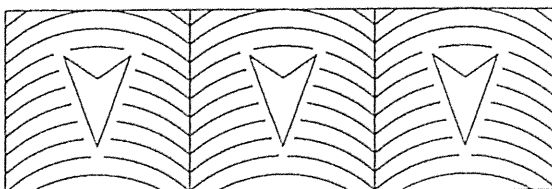


3. 風が少しある時の散布

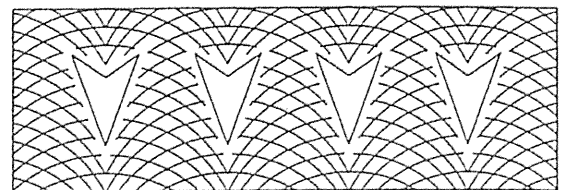
風があるときは散布作業は避けたほうが良いのですが、止むを得ず散布しなければならない場合は、できるだけ風に向かって作業をしてください。散布ムラを最小にとどめ、運転者に肥料がかからないようにするためです。

この場合も1回散布、2回散布の方法がありますが、いずれも風に向かって散布し、往復散布はしないでください。

① 1回散布



② 2回散布

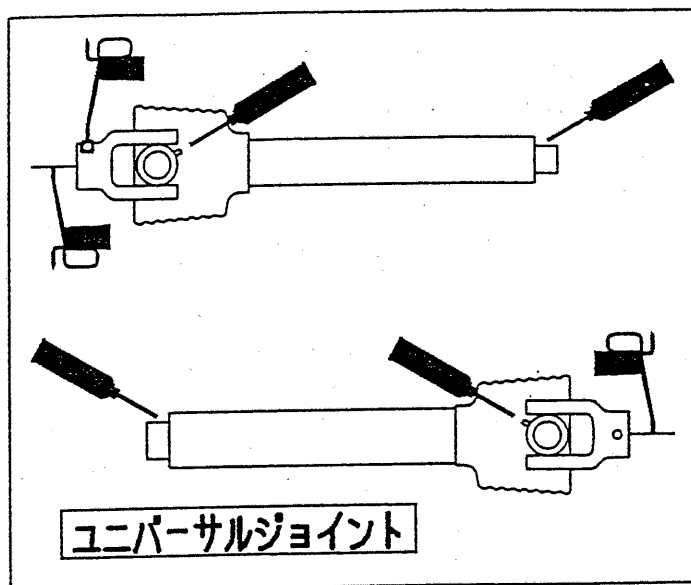
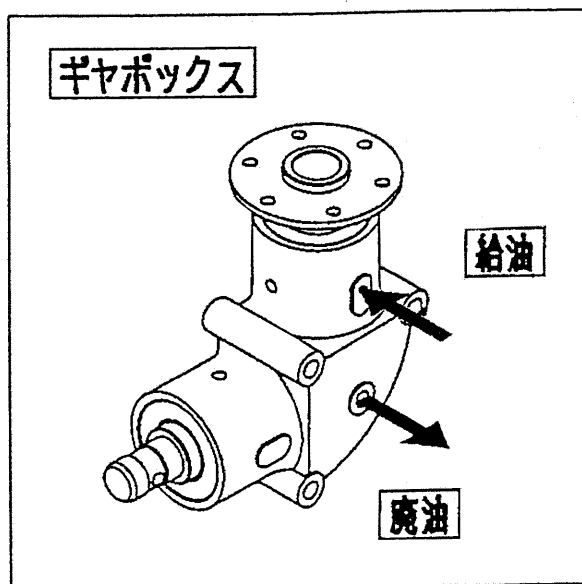


給油について

給油位置は図に、交換時期は表に示します。これにしたがって給油を行なってください。

給油箇所	オイルの種類	給油量	交換時期
ギヤボックス	ギヤオイル #90(#80)	全量交換 0.25リットル	1回目使用後30時間後 2回目以降100時間
ユニバーサル ジョイント	グリース ギヤオイル#90(#80)		作業前後

☆なお、表以外の滑動部にもギヤオイルを塗布してください。



☆ジョイントには作業前に必ずグリースを補給してください。

保守管理について

☆作業シーズン中の保守管理

作業終了後、水洗いしてボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落を確認、補充し、給油してください。

☆作業シーズン終了後の保守管理

水洗い、乾燥、補修塗装、給油、塗油等を行ない、破損部分、脱落部分がある場合は、早めに部品交換、修理を行なってください。

格納は湿気、ホコリがなく平坦な場所に安定させて保管してください。

▲ 注意

点検・清掃時はトラクタのエンジンを必ず停止してから行ってください。

トラブルの原因と処理方法

現 象	原 因	処 置
作業中ジョイントから音が出る。	ジョイントに角度が付いて使われている。	作業機を水平に取り付ける。
持ち上げ時入力軸を破損する。	ジョイントが長過ぎる。	ジョイントを適正な長さに切断する。
作業中作業機が大きく振動する。	ロワリンクのチェックチェーンがゆるい。	チェックチェーンを左右均等に張る。
ジョイント取り付けのセットボルトが切れる。	セットボルトを確実に締め付けていない。	セットボルトを確実に締め付ける。

主要諸元

型式	機体寸法(mm)			重量(kg)	ホッ パー容	散布幅(m)	作業速 度(km/h)	装着装置の 種類	適応トラクタ kw(PS)
	全長	全幅	全高						
CM120	930	900	850	58	120	5~6(粒状)	2~6	3P-0	9.6~14.7 (13~20)
CM120-A1				68		3~4		日農工特4P A-1	
CM120-A2				(有機肥料)		日農工特4P A-2			

この仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

Sasaki

株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本 社・工 場／〒034-8618	青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営 業 部／〒034-8618	青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部 品 窓 口／〒034-8618	青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北 東 北 営 業 所／〒034-0001	青森県十和田市里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙 台 営 業 所／〒981-1201	宮城県名取市北原東180	TEL 022-382-4877	FAX 022-384-1641
関 東 営 業 所／〒329-0201	栃木県小山市粟宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
北 陸 営 業 所／〒954-0124	新潟県南蒲原郡中之島町六枚田1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡 山 営 業 所／〒702-8002	岡山県岡山市桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

0502-A8W-510000-0